

おびまる広場に恐竜!?

カモハシリユウを
おびまる広場へ移設

これまで小平ダムに設置されていたカモハシリユウのモニュメントをより多くの人の目に触れられるように9月29日におびまる広場へと移設しました。

カモハシリユウは白亜紀後半（約8千万年〜9千万年前）に生息していたとされアヒルやカモノハシのような角質のくちばしを持つことからカモハシリユウと呼ばれており2足歩行をし、10メートルを超える大型のものも多かったとされています。

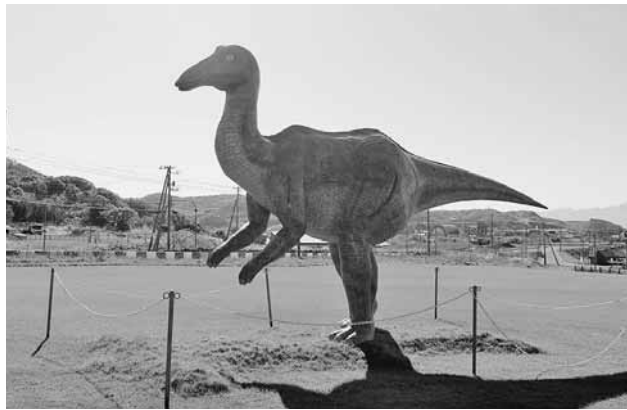
カモハシリユウの化石が昭和50年（1975年）頃に小平薬川の上流で発見され、平成3年（1991年）にカモハシリユウの骨盤と大腿骨であることが鑑定により判明し、北海道で初めての恐竜の化石確認となりました。

現在、詳細な研究のため化石は貸出中ですが、小平町文化交流センターに化石（複製）の展示が行なわれていますのでぜひ立ち寄った際などにご覧ください。

また、北海道では「ほっかいどう恐竜・化石マップ」制作プロジェクトを進めています。この活動は恐竜・化石を展示している施設のマップを制作し北海道の恐竜や古生物化石のこともっと知ってもらい博物館などを巡ってほしいとの思いで始めたプロジェクトです。興味のある方は道ホームページにも掲載されていますのでぜひご覧ください。



小平町で発見されたカモハシリユウの化石(複製)



移設されたカモハシリユウのモニュメント



国道232号を視察の様子
(左から関町長・赤羽国土交通大臣・稲津衆議院議員)

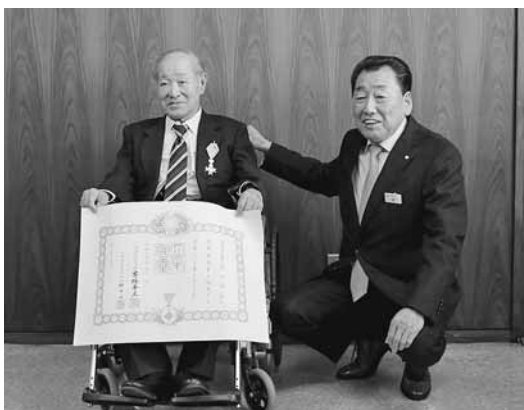
10月12日に赤羽一嘉国土交通大臣が小平町を訪れ、留萌開発建設部による防災対策の説明を受けたほか、今年度から進めている国道232号の防災対策現場を視察しました。

国道232号ではこれまでにのり面崩落や越波による通行止めが幾度も発生しており、危険解消を図るため将来的にのり面を切り崩し、道路のかさ上げを目指しています。

関町長は大槻「花岡間の防災対策に関して「長年の願いだつた」と声をかけ、それに対し赤羽大臣は「なるべく早期にできるように進めたい」と述べられました。

国道の防災対策 現場視察

赤羽国土交通大臣が小平町を訪問



安田元分団長(左)と関町長

元小平消防団分団長の安田幸作さんへの高齢者叙勲（瑞宝単光章）伝達式が10月21日に役場応接室で行われました。

安田元分団長は昭和27年に小平村小平消防団員に入団して以来、平成4年まで永きに渡り活躍されました。

伝達した関町長は「このような賞を受賞されたことは町としてもとてもうれしいです。今後も元気に楽しく過ごしてください」と述べ、表彰状と勲章を手渡しました。

安田元分団長は「このような賞をいただき感謝しております。家族の協力や支えのおかげです」と述べました。

消防活動に多大な功績

高齢者叙勲を伝達